

重点施策 社会教育施設の整備充実	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">評価実施者</td> <td>所 属</td> <td>社会教育課</td> </tr> <tr> <td>職・氏名</td> <td>課長 竹谷和徳</td> </tr> </table>	評価実施者	所 属	社会教育課	職・氏名	課長 竹谷和徳
評価実施者	所 属		社会教育課			
	職・氏名	課長 竹谷和徳				

重点施策の概要	目的	市民の社会教育活動を支える施設を整備するとともに、今後の人口規模や利用状況に照らし合わせた社会教育施設の配置計画を策定し、継続した社会教育活動が進められる環境づくりに取り組みます。
	今年度の主要事業	①教育支援センターの開設と文京台ソフトボール場の設置 ②温水プールの民間への無償譲渡

事業の目標と実績	区 分		単位	H22	H23	H24	特記事項
	1	社会教育施設の耐震化		目標 実績	%		
2	教育支援センターの開設	目標 実績			購入・基本設計 購入・基本設計	開設 開設	H24.8月に開館
3	温水プールの民間への無償譲渡	目標 実績		公募条件整理	公募・無償譲渡		H24.4月に無償譲渡決定、9月にオープン
4		目標 実績		公募条件整理	公募	無償譲渡	
5		目標 実績					

事業の分析効果の検証	<p>①社会教育施設の耐震化についてはスポーツセンターの耐震調査を実施し、該当施設すべての調査が終了した。また、総合福祉センターについては、耐震化と大規模改修にかかる経費を勘案し、平成26年3月末をもっての閉館を決めた。</p> <p>②旧北海道高等技術専門学院を教育支援センターとして開設するとともに、隣接する土地に空知川河川敷にあったソフトボール場を移設し、文京台ソフトボール場(2面)を整備するなど、施設充実に取り組むことができた。</p> <p>③市では初となる民間への公共施設(温水プール)の無償譲渡を行い、H24年9月には新たな健康増進施設が誕生した。プール3コースを市民用として借り上げ、これまで同様、市民が年間を通じて水泳活動ができる環境を確保することができた。</p>
課題	<p>①文化センター及び青年体育センター・スポーツセンターの耐震・大規模改修について早期に計画を策定し、作業を進めていく。</p> <p>②今後の生涯学習をどのように進めていくのか、市民の意向調査を実施し、求められる生涯学習環境(ハード・ソフト)を施策としてまとめ、施設整備と合わせ計画的に事業を展開していく。</p>

評価	B	<p>評価の視点1 期待どおりの効果があったか 新たに設置した教育支援センター、無償譲渡した民間活力をもって魅力ある施設に生まれ変わった温水プールについては、それぞれの機能を強化したものであり、期待どおりの効果があった。</p> <p>評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要があるか 市が計画策定を進めている公共施設マネジメント計画の方向をみながら、必要な社会教育施設の役割・機能を維持できる施設整備を今後も進めていく。</p>
----	----------	--

【評価の区分】

- A: 期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する
- B: ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある
- C: 概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。
- D: 期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要

事業の今後の方向性	<p>体育施設では青年体育センター・スポーツセンター、文化施設では、文化センターを耐震化する必要があり、その対応について、社会教育審議会の意見をふまえ作業スケジュールを明確にしていく。</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統廃合 <input type="checkbox"/> 質的向上 <input checked="" type="checkbox"/> スピードアップ <input type="checkbox"/> 検証 <input type="checkbox"/> 継続</p>
-----------	---

◎外部評価委員の評価・意見等

点検・評価に関するコメント	<p>耐震化に合わせて、それらに代わる施設も考えてほしい。</p> <p>新しいものではなく、分散化させていかないと将来また同じ問題が起きる。既存のものを使っていくようにして、それでも足りない時に新たなものを造るというように考えていかないと。</p>
---------------	---